

彩り新聞

街に、住まいに、そして暮らしに潤いを



第41号 [2015年 7・8月]

塗り替えアチブメント

夏を涼しく快適に！ しかも節電・省エネ

2級建築施工管理技士 杉山 昌治
1級塗装技能士

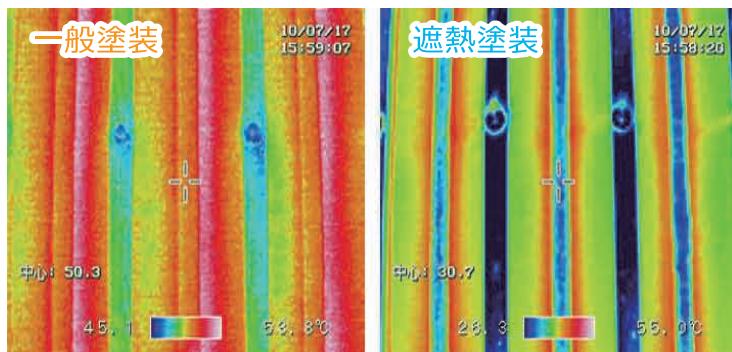
体感温度 人は次の4つの項目が影響しあって温度を感じています。快適さを実現する上でとても重要な事柄です。

1. 気温
2. 輻射熱
3. 湿度
4. 風速

輻射熱とは赤外線(熱線)によって直接伝わる熱の事です。たとえば木陰に入ると気温は変わらないのに涼しく感じます。それは茂った葉で太陽から降り注ぐ大量の赤外線が遮られているからです。また植物の葉は赤外線を吸収するので、葉自体は鉄板や瓦の様に熱くならず葉からの輻射熱はかなり少くなります。ですから涼しく感じるのであります。一例ですが、同じ日陰でも鉄板屋根の駐輪場などの下では涼しく感じません。それは太陽からの赤外線によって屋根の鉄板が熱くなり、その熱せられた鉄板から多量の輻射熱が放出されます。木陰のように涼しく感じるのは輻射熱の違いによるものです。

遮熱塗装 輻射熱(赤外線)を反射させ物が熱くならないようにする機能がある塗料を使用して塗装します。夏場30℃以上の高気温時では、屋根材の表面温度で約18℃低い値を計測しました(弊社倉庫鉄板屋根にて比較試験実施)。

- ・工場や倉庫などの屋根の裏側が丸見えの建物は屋内への熱侵入が元々大きいため遮熱塗装後の温度差は大きいです。
- ・住宅は天井裏に断熱材があり室内への熱侵入は元々抑えられているため遮熱塗装後の温度差は小さいです。



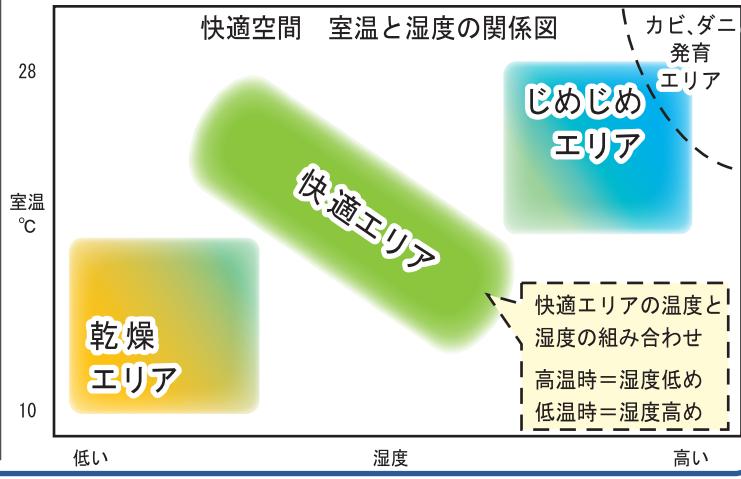
夏場は湿度が高いと体感温度が上がり暑く感じます。ミスナールという体感温度では湿度が10%高くなると体感温度は約0.8℃上がるといわれています。

ケイソウ土塗り壁 ケイソウ土は多孔質であるため湿度が高い時には吸湿し、低湿度になると放湿するという調湿機能を持っています。また多孔質であるため独立した小さな空気層ができる断熱効果も併せ持っています。



真夏日、外まわりは植物のグリーンカーテンやヨシヅで直射日光を遮る。室内ではエアコンは主に湿度を下げるために使用、併せて扇風機の活用で体感温度を下げる。

快適で節電・省エネも併せて達成できると良いですね。



発行： 彩り新聞 製作委員会 (株)杉山塗装店内
<http://nurikae.biz/reform/彩り新聞>

Sugiyama

美しさ いつまでも

塗り替えリフォーム専門
<http://nurikae.biz>

(株)杉山塗装店

0120-2-41160 羽島郡岐南町徳田西2-32